



ちょっと素敵な話
No.10

仕事は私の元気のもと

私は採用が決まり、極度の緊張から調子のバランスを崩してしまいました。

精神障害があり、出勤前にとでもしんどくなる時期がありました。しかし、職員皆さんからの挨拶や声かけ、利用者さんの差別のない素直な優しさが、仕事に向かっていきたい力になりました。

中でもひとりの同じ利用者さんが、玄関前で待っていてくださり「こんにちは」と本当に明るく元気に迎えてくれるのです。私はその瞬間に不安がふつ切れて、今日も一日頑張りたいという気持ちにさせてもらえました。

事業所内に入ると、もうひとりの利用者さんが私に「明日来る？」と必ず聞いてくれるのです。私は本当に幸せに思い、その時間を大切に思いました。

所長や主任には始めから、私の障害についてどう接したらよいかと尋ねていただきました。その温かい配慮にも、感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして私の方こそ、一職員として努力して皆さんについていけるように成長していききたいと思えました。

採用から三年の月日が経ちました。職員皆さんにあたたかい気持ちで、気を長く支えていただけているおかげで、やっと緊張も解けて自分らしさが少しずつ出てきました。本当に明るく楽しい毎日を送らせていただき、感謝しかありません！

たまに苦手なことにあたる時もあり、助けていただきながらですが、自分も経験を重ねて成長したい気持ちでいっぱいです。

いろいろなことがある毎日の中で、たくさん利用者さんと関わります。すると、変わらないいつもの声が今の私の元気のもととなって、日々を過ごすことができま

す。
私は支援員ではなく、お掃除の仕事ですが、この会社のこの仕事場に就けたこと、本当に幸せに思います。

す。
これからも感謝の気持ちを忘れず、日々成長していけるよう頑張っていきたいです。